

II 事業の概要

1 教育事業の実施状況

【久留米信愛女学院短期大学】

1 短期大学の概要

(1) 設置する学科

幼児教育学科、フードデザイン学科、ビジネスキャリア学科

(2) 学科の入学定員、学生数の状況（5月1日現在）

学科名		25年度	26年度	備考
幼児教育学科	入学定員	100	100	
	収容定員	200	200	
	在籍者数	152	135	
	充足率 (%)	76.0	67.5	
フード デザイン学科	入学定員	40	40	
	収容定員	80	80	
	在籍者数	50	55	
	充足率 (%)	62.5	68.7	
ビジネス キャリア学科	入学定員	40	40	
	収容定員	80	80	
	在籍者数	53	37	
	充足率 (%)	66.2	46.2	
全学	入学定員	180	180	
	収容定員	360	360	
	在籍者数	255	227	
	充足率 (%)	70.8	63.0	

(3) 卒業生、学位授与の状況について 平成27年3月

	幼児教育学科	フードデザイン学科	ビジネスキャリア学科	合計
平成25年度入学生	67	26	24	117
在籍者数	63 (留1・退4・ 落1)	24 (退1・落1)	22 (留1・退3)	109
卒業資格なし	2	0	0	2
卒業生（短期大学士）	61	24	22	107

2 はじめに

2018年を境に18歳人口は激減期に入る。前年の2017年は短期大学設立50周年である。2017年を短期大学再生のリミットと考え、平成23年度に「50周年プラン」を策定した。平成25年

度は計画の3年目の中間評価の年度であった。評価・反省を各部署で実施し、今後2年間の新たな取り組みを設定した。それをもとにP D C Aサイクルを稼働させ課題克服に取り組んでいく。

3 平成26年度の重点的取り組み

(1) 定員割れ改善

平成26年度の入学者は115名（前年比-2）であった。内訳は、幼児教育学科70名（+3）フードデザイン学科30名（+4）ビジネスキャリア学科15名（-9）である。ビジネスキャリア学科は、収容定員の5割を切ることになり、補助金停止も含めて大きな課題を抱えることになり、緊急の決断が必要な事態となった。

平成27年度の入学者は124名（前年比+9）であった。内訳は、幼児教育学科79名（+9）フードデザイン学科35名（+5）ビジネスキャリア学科10名（-5）である。幼児教育学科及びフードデザイン学科は2年連続の入学者増となり、定員の8割及び9割に近いものの、ビジネスキャリア学科は定員の4分の1となった。2年連続の収容定員の半数割れとなり、平成28年度の学生募集停止を決定した。

幼児教育学科及びフードデザイン学科は、平成29年の短期大学設置50周年に定員充足率100%を目指して学生募集に取り組んでいる。

(2) 50周年プラン

平成23年（2011）度から平成29年（2017）度までの6年間の短期大学の中・長期計画を策定した。P l a n（計画）→D o（実行）→C h e c k（評価）→A c t i o n（改善）の循環を確立し、短期大学設置50周年に向けて総力を挙げて大学改革に取り組んでいる。平成25年度が中間評価の年度であり、全学的に自己点検・評価を実施した。

(3) 学科再編構想

平成26年3月に「4年制大学設置検討準備委員会」を設置し、学生確保のリサーチを外部に委託した。その結果、「4年制大学の設置はリスクを伴う」という報告を受け、4年制大学の設置は断念した。一方、ビジネスキャリア学科の2年連続定員半数割れが決定し、ビジネスキャリア学科の再編成を検討したが、「学生募集を停止するのであれば、28年度が最適である」との結論に達し、平成28年度のビジネスキャリア学科の学生募集停止が決定した。

(4) 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

平成24年度に採択された（3年間）「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の3年目を展開した（26年度は8,528,543円の補助金）。本学は、「キャリア系科目の授業改善」グループに属し、キャリア教育の高度化を推進した。

(5) 第2回認証評価

本学は平成19年度に第1回認証評価を受け「適格」とされた。平成26年度に第2回認証評価を短期大学基準協会より受け、「適格」とされた。

4 幼児教育学科

(1) 教育活動の充実

① 新子ども・子育て支援システム等の政策の動向に対応するために教授内容の調整および

開講期の調整を関係科目間で実施した。

- ② コース制についての検討を行い、コース制を「4つの教育プログラム」（モンテッソーリ教育、音楽教育、レクリエーション・インストラクター、子育て支援）と「+αの学び」に再編した。
- ③ 保育・教職実践演習で作成する履修カルテを基に、学生ポートフォリオを用いた学生への教育支援プログラムを実施した。また、ゲストスピーカーとして保育現場で活躍する保育者を招き、より実践的な学習プログラムを実施した。

(2) 学生支援の充実

高い就職希望率・専門職への就職率の維持を目的として就職部と連携し、保育職面接特訓講座などを実施したほか、幼稚園連盟、保育所連盟との懇談会への参加や実習訪問指導などの機会を通じて、保育現場との信頼関係を深めた。結果として、600件以上の保育職の求人が確保でき、学科の就職率も3月末に100%を達成した。

(3) 研究活動の活性化

保育現場との連携、テキスト等の教材開発、学内外との共同研究などの促進を図り、学科全体で、実習指導のテキストの改編を実施した。また、卒業生の幼稚園教諭・保育士と本学教職員の共同研究の場として第2回信愛保育研究会を2月28日（土）に実施した。研究活動としては本学科教員から本学第38号研究紀要に5編の投稿があった。

(4) 地域参画

おもちゃライブラリーを拠点にして、地域の子育て支援に参画した。具体的には昨年度に引き続き、「信愛つどいの広場」（週3回）、「子育て支援講座」（月1回）、「子育て相談」などを実施した。また、久留米市の社会福祉審議会や文化芸術振興審議会、久留米市及び大刀洗町の子ども子育て会議などへの委員協力を実施した。

(5) その他

8月に教員免許更新講習（幼稚園教諭対象）を実施し、延べ約200名が受講した。

5 フードデザイン学科

(1) 公開講座

本年度は、3講座開講した。

① 「みんなの食育講座 - 卓（テーブル）へのお誘い」

講師：八木なほ子氏（本学非常勤講師、食空間コーディネーター協会認定講師）

- ・第1回 春編 平成26年 5月31日（土）
- ・第2回 夏編 平成26年 8月26日（火）
- ・第3回 秋編 平成26年 10月 4日（土）
- ・第4回 冬編 平成26年 12月13日（土）

尚、第3回は一般社団法人日本家政学会九州支部学術講演内にて開講した。受講者数はのべ122名であった。

② 「健康寿命延長のためにも糖尿病をよく理解しよう」

講師：梅田文夫氏（行橋中央病院院長、福岡糖尿病臨床研究所所長）

- ・平成26年12月15日（月）

受講者数は 87 名であった。

③「フードアナリスト 4 級養成講座」(一般対象)

講師：横井裕之氏 (フードアナリスト協会理事長)

高木奈穂氏 (本学非常勤講師・フードアナリスト協会認定講師)

北原寿美加氏 (フードアナリスト協会認定講師)

・平成 26 年 7 月 12 日 (土)、13 日 (日)

受講者は 1 名であった。「同 3 級養成講座」は申込者がなく不開講とした。

(2) 地域企業との共同開発

本年度は、地域企業等 2 団体との連携活動に取り組んだ。

1 つは、平成 22 年度からの「JA くるめとの連携事業」の継続である。内容は、JA くるめ広報誌「With You」の「うまかもんクッキング」コーナーへ、毎月のテーマとなる久留米産農産物を使った料理レシピを学生が考案して掲載するものである。11 月にはこの 4 年間に考案した 45 品が『くるめのうまかもんレシピ』(本誌 400 号発行記念)にまとめられた。

2 つめは、平成 25 年度から取組んだ「JA みいとの商品開発を目標とした連携活動」の継続である。本年度は、JA みい管内の食材(米粉、フルーツトマト、玉ねぎ大葉)を使用した『ケーキサクレ』を考案商品とし、提案した。

(3) 50 周年プランの新目標および計画への取り組み

プラン I 「定員確保」については、(1) 平成 27 年度入学生目標数は達成した(目標 34 名に対し 35 名入学)。しかし、26 年度入学生 2 名の退学があり(28 名在籍)、学生総定員(80 名)に対する 27 年度在籍率は目標 80.0%を切った(78.75%)。(2) 社会人入学生の継続確保は達成した(3 名)。

プラン II 「栄養士としての資質向上」への取り組みは、概ね目標を達成した。内、「卒業生へのリカレント教育」は未実施であり、27 年度の課題である。

(4) 「フードデザイン室」ほか調理・給食施設の開放

本年度は、フードデザイン室ほか調理・給食施設を下記の 4 団体(研修会)に施設開放を行った。

- ・久留米大学講義「食と健康」における調理実習(4 回)
- ・筑後地方保育協会給食研修会(2 回)
- ・久留米市学校給食会研修会(1 回)
- ・福岡学生献血推進協議会(1 回)

6 ビジネスキャリア学科

(1) 教育活動の充実

① 新カリキュラムに基づいた教育の実施

学生の希望就職先に応じた指導を強化するため、既存コースの改編及び新コースの設定等カリキュラムの大幅改正を 24 年度に行い、25・26 年にも微調整を行った。この結果、2 年次には希望進路に応じた 6 つのコースを選択履修することが可能となった。学生は 3 から 4 コースを興味・関心に応じて履修していた。その結果、就職率 100%を達成することができた。

- ② 資格取得を目指した教育の実施
 - カリキュラム改編に伴い、新しく「調剤事務管理士」の資格を認定できるようになったので、講師の選定など開講に向けての準備を行った。
- ③ コース制の内容充実
 - 昨年度に引き続き、現在実施している内容について検討し、取得資格の見直し、新資格の導入等について検討したが、変更等は見送った。
- (2) 研究活動の活性化
 - ① 第 38 号研究紀要への投稿論文数は 3 報であった。
 - ② 柳川市の椛島氷菓とオリジナルジェラート「抹茶ぼー」の開発を行った。
- (3) 地域社会への貢献
 - ① 中心市街地活性化事業
 - 6 回目にあたる期間限定信愛クリスマスショップ「メルシィ」の活動を行った。期間は 12 月 1 日（月）から 6 日（土）までの連続する 6 日間であった。柳川市の椛島氷菓と共同開発したオリジナルジェラート「抹茶ぼー」を販売。
 - ② 公開講座の実施
 - 「親子で作る『夏の思い出DVD』」講座を 8 月に開講した。参加者は 4 組（9 人）であった。
 - ③ 「ビジネスキャリア・ラボ」の実施
 - 7 月 1 日から 6 日にかけて、一番街多目的ギャラリーにおいて、公開授業、公開ゼミナールを実施した。また、1 年生による「公開プレゼンテーション演習」も実施した。終了後は、土曜夜市へ引き続き参加し、柳川市の椛島氷菓商品を販売し活性化に貢献した。
- (4) 卒業生への支援
 - 「マナーインストラクター」資格試験実施校として全国大学実務教育協会から認定を受けたことをふまえ、当該講座実施に向けての準備を行うことを目指したが実施には至らなかった。
- (5) 広報活動の充実
 - 高校生、保護者、本学科卒業生への広報活動を強化するため「信愛メディカル女子」のパンフレットを作成し高校訪問時に配布した。
- (6) その他
 - 学科改編論議を継続的に行ったが、新学科構想に達することはできなかった。

7 おわりに

2018 年を境に 18 歳人口は激減期に突入する。各大学の生き残りの戦いの最後のステージである。その前年の 2017 年、短期大学は設立 50 周年を迎える。2017 年の短期大学設立 50 周年をどう迎えるか。それによって、本学院の創立 50 周年後の 50 年が決定する。教職員一人ひとりのポテンシャルを信じ、「ひとつの心、ひとつの魂」の精神をもって、知恵と汗を絞り、難局を乗り切りたい。

【久留米信愛女学院中学校・高等学校】

1 重点目標の達成について

重点目標：グローバルな視野を持ちつつ地域に密着した教育活動の展開により、国際社会に向けて開かれた能力開発を推進する。主体的な学習意欲の向上を図り、自律した生活習慣の確立から進路実現へと導く。

「進路実現」については、国公立大学 25 名合格、私立大学 117 名合格と、過去 7 年で最も多い合格者を出した昨年度に続く合格者を出すことができました（下記 2 (1) の表参照）。

2 教育活動

(1) 生徒の成長段階に合わせた進路学習会・講演会の実施や個人面談等のきめ細かな進路指導を通して、進路意識の高揚を図りました。過去 7 年間の大学等合格状況の推移は次の通りです。

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
卒業者数	122	115	102	94	92	105	89
国公立大学	11	※1 19	15	※2 20	※3 14	※5 25	※6 25
私立大学	125	126	144	111	86	129	117
海外の大学	0	1	0	0	※4 1	0	3
短期大学	55	31	29	23	25	14	19
うち信愛短大	32	24	18	16	18	11	11
専門学校	24	9	7	14	8	11	9
就 職	0	0	2	4	2	0	0

※1 防衛大学校一次合格 3 名を含む。 ※2 防衛大学校一次合格 5 名を含む。

※3 防衛大学校一次合格 2 名を含む。 ※4 既卒生。ハンガリー国立大学医学部合格。

※5 防衛大学校一次合格 6 名、水産大学校合格 1 名を含む。 ※6 防衛医科大学校 1 名、防衛大学校 1 名、航空保安大学校 1 名、防衛医科大学校一次合格 1 名、防衛大学校一次合格 4 名を含む。

合格した主な大学は次の通りです。

〔国公立大学〕大阪大学・九州大学・筑波大学・熊本大学・九州工業大学・鹿児島大学 2・熊本大学・佐賀大学 3・国際教養大学・金沢美術工芸大学・北九州市立大学 他

〔私立大学〕上智大学・中央大学・明治大学 2・立教大学・東京理科大学 4・法政大学・北里大学・関西学院大学・立命館大学・産業医科大学・西南大学 6・福岡大学 15 他

〔海外の大学〕トロント大学・UBC（ブリティッシュコロンビア大学）・サイモンフレイザー大学

(2) グローバル化がさらに加速する中、国際的視野の育成プログラムを充実させ、国際交流の深化と語学研修の充実に努めました。

プログラム	概 要
カナダ修学旅行	高校2年生(92名) 10月実施 バンクーバー周辺 6日間 4泊ホームステイ セント・トマス・アキナス校との交流
韓国研修旅行	高校1年一貫生希望者(20名参加) 10月実施 ソウル・天安 姉妹校福者女子校との交流 3日間(うち1泊はホームステイ)
ニュージーランド研修	中学3年希望者(21名参加) 8月実施 オークランド 10日間 姉妹校セント・ドミニクス・カレッジでの語学研修
福者女子校との交流会	昨年4月の韓国フェリー転覆事故に伴い、韓国政府が修学旅行禁止の通達を出したことから今年度の本校への来校は中止 信愛ビデオレター送付 例年 高校2年 7月実施 九州への3日間の修学旅行の一環として生徒、教師、ガイド来校 本校生徒宅へのホームステイ 平成27年度実施予定
イングリッシュ・セミナー	中学1年 7月末実施 3日間 英検受験級ごとにクラス編成しての集中セミナー 面接指導
インターナショナル・キャンプ	中学2年(21名参加) 7月末実施 3日間 西南学院大学 イマージョン型(英語漬け)研修
合唱部イギリス遠征	平成24年度に実施 平成27年度実施予定 合唱部員希望者 3月実施 イギリス ロンドン郊外ブラッドフォードオンエイボン周辺 セント・ローレンス校との交流と各地での演奏会
海外留学(1年間)帰国	高校2年:3名(アメリカ、カナダより)
海外留学(1年間)出発	高校1年:3名(アメリカ、カナダへ)
留学生の受け入れ	高校1年に1名 フィンランドより(1年間)
海外短期研修参加者	高校1年に1名 高校2年に1名 (ベトナム 8月 8日間)
聖マリア病院留学生(医療従事者)との交流	中学2年59名 10月実施 国際交流事業研修員8名(男性6名・女性2名)に日本文化紹介のプレゼンテーション その後グループに分かれてゲストの母国についての質疑応答、折り紙講習等の交流
アメリカ領事館主催英語講座	高校1年・2年対象 3月実施 インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス ESL 教員によるアメリカ式レッスン 講座後講師と生徒有志で座談会
イングリッシュ・サプリメント	昼休みに自学室で開催 自由参加で昼食をとりながら、TEDや大統領演説、映画やドラマを視聴

3 広報活動

地域の全般的な学校評価としての側面を持つ入学者数・一貫進学者数は、過去7年間は次のとおりに推移してきました。

年 度		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
中 学 校	※志願者	100	110	128	121	92	99	104	
	入 学 者	文理	27	23	21	20	20	18	17
		文理S	20	25	23	16	24	22	20
		医進	13	18	17	24	15	11	15
		計	60	66	61	60	59	51	52
高 等 学 校	※志願者	362	273	320	266	222	230	192	
	入 学 者	※学際特進	25	25	39	34	20	33	26
		特進	32	19	—	—	—	—	—
		S特進	19	11	16	17	19	14	12
		特進一貫	24	26	34	28	38	24	22
		医進一貫	3	8	20	12	21	11	22
計	103	89	109	91	98	82	82		
中高入学者計		163	155	170	151	157	133	134	
※中高入学者指数		100	95	104	93	96	82	82	

※ 中学校の志願者は〈A日程〉・〈B日程〉の志願者の合計人数

※ 高等学校の志願者は【推薦・専願】・【一般（前期・後期）】・【補充募集】の志願者の合計に一貫生の進学者を加えた人数

※ 高等学校の「学際特進コース」は、2010年度まで「進学コース」

※ 中高入学者数指数は、2009年度を100とした数値

中学校では、平成27年度（2015年度）入試で志願者数104名、前年度比5%増となりましたが、入学者の歩留まりが悪く、52名入学で前年度比2%増に留まりました。歩留まりが悪かった理由を詳細に分析し、学習塾、特に大手塾との関係の再構築、小学校への積極的なアプローチなど、広報戦略の展開を見直す必要があります。

高校では、平成27年度（2015年度）入試で志願者数192名（前年度比17%減）と減少しましたが、一貫生の他校受験が6名と例年に比して少なかったこともあり、入学・進学者数は82名となり、前年度と同数の入学者となりました。

4 その他

- (1) 中学1年から高校3年まで学年単位、または学年合同で発達段階に応じた行事、テーマに合わせて、神父様を招いて行った「学年ミサ」や、職員対象のミサ・神父様の講話などを通して、カトリック学校としての教育理念の確認、「信愛教育」の徹底を図ってきました。
- (2) 同窓会との連携で、5月に「ロザリオの集い」（人生の節目となる40歳・60歳の集い）、11月に「菊の香の集い」（教職についている卒業生の集い）、12月に「MESSAGE 28 ～卒業生と在校生の交流会～」(卒業後10年の先輩による講話)、1月に「信愛成人式」などを催し、卒業生と教職員・生徒との絆を大切にしつつ、「女性の一生をサポートする」学院の姿勢の明確化・定着に努めました。2015年度から従来の「野のゆり奨学金」が「野のゆり入学祝い金」となり、同窓生の子女の入学をサポートする形に変わりました。

- (3) 福岡県副知事の主催する「福岡女性いきいき塾」出身のメンバーの方々を中心に、社会に出てリーダーシップを取りながら活発に働く女性の皆さん12名ほどを招聘して、中学2年生と高校1年生で少人数のグループに分かれ交流する「働く女子と学ぶ女子の座談会」を3月に催しました。人前で自分を押し出す場を設け、自己表現力やコミュニケーション能力を高める機会としました。
- (4) 後援会との連携で、「信愛近隣北地区」・「信愛近隣南地区」・「久留米市街東地区」・「久留米市街西地区」・「久留米南西地区」・「久留米北東・三井地区」・「田主丸・吉井・うきは地区」・「甘木・朝倉地区」・「八女・筑後地区」・「小郡・筑紫野・太宰府・福岡地区」・「鳥栖・三養基・佐賀地区」の11地区で地区保護者会・懇親会が開催され、後援会のネットワークが一層強まりました。
- (5) 後援会との連携で「信愛父親の会 (Shin-ai Dads' Club)」が発足し2年目を迎えました。活動は5月に体育祭のテント立て、9月に文化祭警備、12月上旬にイルミネーション設置作業と点灯式、下旬に受験生応援のための餅つき会と4回に増え、更に充実したものとなりました。

【久留米信愛女学院幼稚園】

1 平成26年度の目標達成について

子ども子育て新制度のスタートを前に、「カトリックの精神を基盤としモンテッソーリ教育法による縦割りクラスの中で全人格的成長をめざします」この理念の質を磨き、その質の高さを家庭に地域社会に持ち帰る教育とする為、次の3点を重点目標にして取り組む。

(1) キリストの教えに根ざした教育に力を入れた。

- ・教育理念に基づいた子ども像
 - － 賛美と感謝がいつでも響いていた。
 - － 愛されている事の喜びが、子ども達の落ち着きと品位の中に見られた。
 - － 困っているお友達の手助けをしようとの気遣いが見られた。

(2) モンテッソーリ教育の実践に力を入れた。

① モンテッソーリ教育を受けて成長した子どもの特徴として見られた姿。

- ・人格面
 - － 自分の考えを持ち、他者に流されていない。
 - － 計画を立てて実行に移した。
- ・生活面
 - － 挨拶がきちんとできる。
 - － 毎日の保育の流れを理解している。
 - － 準備、片付け等手順が良い。
 - － まっすぐ整理して並べられる。
- ・人間関係の面
 - － 思いやりがある。
 - － 人の話をしっかり聞く。
 - － 友だちの成功を喜ぶ。
 - － 相手の人格を尊重した手伝いが出来る。

② モンテッソーリ教育の質の向上に向けて職員全員でプログラムを暗記する。

プログラム暗唱については、朝礼時はバス乗車があり、終礼時は、各担当からの報告やその後、各部の集まり等で時間がなく154項目のプログラム暗唱は達成出来なかった。

③ 講師を招いて、全職員が数のプログラムの研修が出来、共通理解を深めた。

□ 家庭や地域社会に持ち帰った信愛幼稚園の教育理念

取り組んできたこと、特に保護者から沢山のお便りを頂いた中の一部だが、確実に子どもたちは、信愛の教育理念を持ち帰っていると確信した。

(3) 徹底的な地域密着・子育てのサポート体制を整えモンテッソーリ教育の精神に基づいて入園までの保育を充実させる。

- ① 1歳児から手作り教具を使って、棚から自分がしたいものを選び、自分の机に持ってきて、集中していた。
- ② つばみ・アンジェラ(1歳～3歳未満40名目標) 現在52名。

③ アンジェリーナ(親子教室)1歳～3歳未満 30名目標としていましたが現在5名。

(子どもを預け働く人が多くなっている現状ではないか)

④ 早朝7時から延長19時までの預かり保育も徹底して行った。(共働きでも良い教育を受けさせたいと言う保護者の思いに寄り添う事が出来た。)

2 その他の取り組み

(1) 広場 第1・第3の広場参加者

年間10回を通してこられた方 225名 初めての方年間102名

- 親子体操を始めた
- クッキングを計画していたが、栄養士がいないので出来なかった。
- プール遊びも大喜びだった。
- ひろばの方にアンケートをとった
 - ・親子体操が楽しかった。
 - ・教育内容をもっと知りたい。
 - ・親子クッキングがしたかった。

(2) 土曜学校 第1・第3(1年～6年)

年間13回 第1・第3 土曜日 24回

- ・卒園の時にプレゼントした聖書をよむ。内容の話を聞く。感想を書く。
- ・モンテッソーリの教具を使ってやりたいものをする。
- ・おやつ作り(ピザづくり)
- ・園庭でそうめん流し
- ・ヤクルト神崎工場見学
- ・ボーリング体験

2 管理運営の実施状況

(1) 理事会・評議員会の開催状況

理 事 会	H26. 4. 15	1	1 理事の担当および理事長職務代理順位の件 【報告事項】 1 保有債券の状況について 2 本学院元教職員の現況について
	H26. 5. 20	2	1 平成25年度事業報告の件 2 平成25年度収支決算承認の件
	H26. 6. 17	3	1 財務状況等の件 2 学院広報メディアの整理統合に関わる外部業者委託の件 【報告事項】 1 裁判報告（最高裁決定）
	H26. 7. 15	4	1 久留米信愛女学院高等学校 平成26年度「カトリック 奨学生」追加認定の件 2 平成26年度途中人事の件 3 資産運用方針の件
	H26. 9. 16	5	1 学院広報メディアの整理統合のための業者委託の件 2 久留米信愛女学院短期大学 学則変更の件 3 久留米信愛女学院短期大学 改革検討のための現状把握 調査の最終報告の件 4 資産運用の件
	H26. 10. 21	6	1 平成26年度第1回補正予算案の件 2 久留米信愛女学院中学校 学則改正の件 3 久留米信愛女学院高等学校 学則改正の件 4 久留米信愛女学院短期大学 学則改正の件 5 学生寮の件 【報告事項】 1 資産運用の件

理 事 会	H26. 11. 18	7	1 平成26年度 短期大学遠隔地奨学金承認の件 2 平成27年度予算編成における基本方針の件 【報告事項】 1 入学志願者等の動向の件 2 学院広報メディア委託業者選定の進捗状況について
	H26. 12. 16	8	1 人事の件 2 管理組織規程改正の件 【報告事項】 1 入学志願者の動向の件 2 学院広報メディア委託業者選定の進捗状況について 3 高等学校「スポーツ特待生」の適用取り消しについて
	H27. 1. 20	9	1 学院広報メディア委託業者選定の件 2 短期大学ビジネスキャリア学科の学生募集停止の件 3 人事の件 【報告事項】 1 入学志願者の動向について 2 短期大学第三者評価結果の内示について
	H27. 2. 17	10	1 短期大学学長選任の件 2 補欠理事選任の件 3 補欠評議員選任の件 4 平成27年度人事の件 【報告事項】 1 入学志願者の動向について
	H27. 3. 24	11	1 短期大学ビジネスキャリア学科の学生募集停止の件 2 平成27年度事業計画案の件 3 平成27年度収支予算案の件 4 中学校・高等学校 特待生・スカラシップ等の件 5 次期役員選任の件 6 次期理事長選任の件

評議員会	H26.5.20	1	1 平成25年度事業報告の件 2 平成25年度収支決算承認の件
	H26.10.21	2	1 平成26年度第1回補正予算案の件 2 久留米信愛女学院中学校 学則改正の件 3 久留米信愛女学院高等学校 学則改正の件 4 久留米信愛女学院短期大学 学則改正の件 5 学生寮の件
	H27.3.24	3	1 短期大学ビジネスキャリア学科の学生募集停止の件 2 平成27年度事業計画案の件 3 平成27年度収支予算案の件 4 役員選任の件

(2) 施設設備の整備状況

平成26年度の主な施設設備については下記のとおり整備しました。

部 門	明 細	金 額	備 考
短期大学	学生ホール空調機器更新工事	793,800 円	
	レッスン室アップライトピアノ	550,000 円	
	バイオレットホールプロジェクター取替工事	518,400 円	
	体育館パイプオルガン防球ネット取付工事	432,000 円	
	体育館スポットライト用吊り下げバトン設置工事	345,600 円	
	給食管理実習室ガス回転釜取替工事	281,880 円	
	理化学実験室薬用冷蔵ショーケース	284,040 円	
	P C B 廃棄物処理	2,991,600 円	
高等学校	本館トイレ改修工事	23,533,200 円	
	生徒用机・椅子更新 (100組)	864,000 円	
	多目的ホール緞帳操作モーター・後幕	601,000 円	現物寄附
幼稚園	ログハウス塗装工事	722,142 円	
	玄関改修工事	373,680 円	
	園庭芝貼工事	259,200 円	